

『愛知用水体験事業』

水土里ネット愛知用水

令和元年8月7日（水）知多市主催の愛知用水体験事業にて、愛知用水のお話をさせて頂きました。

この日、佐布里小学校と新田小学校の児童と保護者の方合わせて36名が参加し、牧尾ダムにて操作室の見学や、顕微鏡を使って微生物の観察などを行いました。子ども達は普段見る事のできないダムの操作室や水門を興味深そうに見学していました。午後に行われた木工教室では、丸太を切ってメダルやコースターを作りました。子ども達と一緒に保護者の方々も楽しそうに参加していました。

私達は、道中のバスにて、愛知用水の生い立ちや、どうやって知多半島へ水が来るかなどを説明し、水源である牧尾ダムや愛知用水の役割についてクイズ形式で伝えました。児童たちは、クイズに積極的に答えてくれ愛知用水について、よく理解している様子でした。

実際に牧尾ダムを訪れて、昔の人たちの苦労や水の大切が伝わったかと思います。今回の体験事業が、夏休みの思い出の一つになれば嬉しく思います。



愛知用水の説明



記念撮影



微生物の観察



メダル・コースター作り